

平成29年度 [小学校 視聴覚教育] 研究報告 (2年目)

五戸町立倉石小学校 教諭 相前 令子

- 1. 研究主題** 学習効果を高め、基礎基本の定着を図るためのICT活用の工夫
～デジタル教科書の効果的な活用を通して～

2. 主題設定の理由

学習指導要領の総則の「教科指導におけるICT活用」において、視聴覚教材や教育機器などの教材・教具を適切に活用し、指導方法の改善を図りながら、児童の学力向上につなげていくことの重要性が述べられている。そこで、1年目は、日常的にデジタル教科書を中心としたICTを活用し、それぞれの機器の特性や活用方法について研究してきた。ICTを活用することによって、児童の関心が高まり、集中して学習に向かうことができた。また、児童と同じ教科書を提示することで、低学年でも理解がしやすく、スムーズに活動できるという効果がみられた。2年目は、ICTを使って課題を提示したときの明確な発問や指示、授業のねらいに即した活用の仕方について研究していくことで、確かな理解につながる指導方法を見いだしていけるのではないかと考え、本主題を設定した。

3. 研究目標

授業において、デジタル教科書を効果的に活用することにより、学習意欲を高め、基礎基本の確かな定着が図られることを、実践を通して明らかにする。

4. 研究仮説

デジタル教科書の特性を踏まえ、学習のねらいに即した活用をすることにより、見通しをもち、学習課題を明確にとらえて、意欲的に課題解決に取り組むことができるであろう。

5. 研究の内容・方法

(1) 研究内容

- ① デジタル教科書や実物投影機の活用の工夫
 - ・ 教材の提示の仕方（場面や見せ方）の工夫
 - ・ 話し合いの場面での活用（操作したことや考えたことを説明させ、理解を深める。）
- ② ICT活用場面での発問の工夫

(2) 方法

- ① 児童の実態調査（テストやアンケート）の実施と分析
- ② 検証授業の実施

6. 実践内容

国語科学習指導案

12月 1日(金) 2校時 (教室)

1学年 (20名)

指導者 教諭 相前 令子

- 1 題材名** くらべてよもう 「じどう車くらべ」 (本時3/12)

2 題材について

(1) 教材観

本単元は、学習指導要領の第1・2学年の目標(3)並びに内容C「読むこと」イ、エ、カ及び「書くこと」イ、ウ、オ、「言語」イ(エ)(オ)を受けて設定されている。説明文を読み取り、そこで学んだ文章の形式を生かして自分が選んだ自動車の説明をする文を書くとともに、図鑑などの説明的文章に関心をもち、読み物の幅を広げていくことをねらいとしている。1次で単元の見通しをもたせ、2次でそれぞれの自動車の「しごと」と「つくり」についての説明を読み取り、3次での自動車カード作りへとつなげていく構成になっている。説明文の学習は、これまでに、「くちばし」で問い一答え、「うみのかくれんぼ」で問い一答え一答え一答えの形式で読み取る活動をしている。本題材では、「しごと」と「つくり」の2つの問いに対して、答えを3つ列挙し、3台の車のつくりの違いを比べるものである。

本時は、その1例目として、バスと乗用車の「しごと」と「つくり」について説明する文章を読み取っていく場面である。教科書に線を引いてから表に書き出すという2段階を踏み、デジタル教科書を使って、線を引く箇所や表に書き抜く作業を丁寧に確認しながらすすめていくことにする。また、文と挿絵を照らし合わせて見るようにさせ、書かれている内容をしっかりと理解させていきたい。3つの例文でこの活動を繰り返し行い、最後の、図鑑から選んだ自動車について書かれている内容を正しく読み取り、事柄を順序よく整理して書き表す活動へとつなげていきたい。

(2) 児童観

児童はこれまで、「くちばし」で問い一答え、「うみのかくれんぼ」で問い一答え一答え一答えの形式の説明文の学習をしている。鳥類や海の生物の体の特徴に関心をもち、楽しみながら調べることができた。説明文の形式はパターン化されており、繰り返すことによってその形式を理解することができた。文末表現や接続語に着目することもできた。

本時でも、これまでに見たことのある自動車が出てくるため、興味をもって学習すると思われる。「しごと」については一文で示されているのでわかりやすいが、「つくり」については二文あるため、挿絵と照らし合わせながら読み、答えは二つあることに気づかせていきたい。

(3) 指導観

本時は、読み取りの第1時になるため、答えの文に色分けをして線を引くことや表に書き抜くことを丁寧に指導して、学習の手順を身に付けさせ、次時からは自分で学習を進めていけるようにしたい。そのために、デジタル教科書を活用し、教科書のどの文に線を引いたのか、表のどこに何を書くのかをしっかりとおさえていくことにする。また、挿絵を拡大して提示することで、説明している文とそのつくりを一致させていくことができるようにしたい。そして、図鑑から自分で選んだ自動車についての説明に興味をもって読み、知識を増やしていく楽しさを感じさせるとともに、書きたい事柄を整理し、順序よく説明文に書き表す力をつけていきたい。

3 研究主題との関わり ～ICT活用の工夫

①デジタル教科書

- ・教科書の本文を映し出すことにより、課題提示や指示を明確に伝えることができるとともに、印をつけた箇所をしっかりと確認し合うことができる。
- ・挿絵を拡大して見せることにより、児童に着目させたいところを明確に示すことができる。
- ・デジタル教科書内のワークシートを映し出すことにより、児童は同じワークシートのどこに何を書き出せばよいか分かりやすい。

②実物投影機

- ・児童がワークシートに書き抜いたものを映し出して発表することにより、互いの意見に関心をもって聞いたり確かめ合ったりすることができる。

4 指導計画（12時間）

- 第1次 図鑑と自動車カードを見て、図鑑作りの意欲をもつ。 ……2
- 第2次 全文を読み、内容の大体を捉える。 ……1
 それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を比べながら読む。 ……3（本時1/3）
- 第3次 はしご車の「しごと」と「つくり」を考えて書く。 ……2
 図鑑や本から選んだ自動車について説明するカードを書く。 ……4

5 本時の指導（3/12）

題材名	くらべてよもう 「じどう車くらべ」
主な視点	■発問・指示 □板書（ノート指導） □話し合い ■ICT活用
本時の目標	バスや乗用車の「しごと」と「つくり」をとらえ、書き抜くことができる。
ICTを活用する目的	■課題の提示 □動機づけ ■指示の明確化 □スキル定着 ■説明資料 □繰り返しによる定着 □モデルの提示 □失敗例の提示 □体験の代行 □体験の仮想（振り返り） □情報の共有 □比較
活用するICT	□大型テレビ ■実物投影機 ■コンピューター ■マグネットスクリーン ■プロジェクタ □電子黒板 ■デジタルコンテンツ（デジタル教科書） □その他

（1）目標

バスや乗用車の「しごと」と「つくり」をとらえ、書き抜くことができる。

（2）評価規準

- ①バスや乗用車の「しごと」と「つくり」が書かれている文を書き抜いている。
 （読むこと）
- ②長音・促音などの表記や、句読点を正しく使って書いている。
 （言語についての知識・理解・技能）

（3）展開

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点 （教師の発問と課題提示）	評価の観点及び方法 等・ICT活用
つかむ 5	1 冒頭の問いの文を音読し、本時のめあてを確認する。 ④バスやじょうよう車の「しごと」と「つくり」をたしかめよう。	・教科書の問いを四角で囲み、問いが2つあることをおさえる。 	デジタル教科書・課題の提示

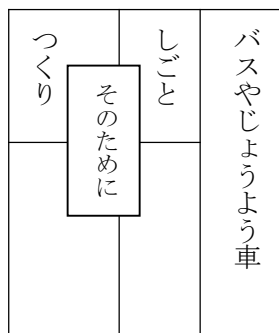
2 バスと乗用車について説明している文を音読する。

- 3 本文を読み、「しごと」について書かれている文と「つくり」について書かれている文に線を引く。
- ・人をのせてはこぶしごとをしています。
 - ・ざせきのところがひろくつくってあります。
 - ・そとのけしきがよく見えるように、大きなまどがたくさんあります。



- 4 これまでの経験から、つくりのよさについて考える。
- ・ざせきがひろいとつかれない。
 - ・ゆっくりできる。
 - ・けしきがよく見えるとたのしい。

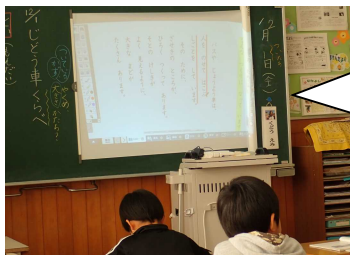
- 5 「しごと」と「つくり」をワークシートに書き出す。



〈発問①〉

しごとについて書かれている文と、つくりについて書かれている文を見つけましょう。

- ・「しごと」と「つくり」を色分けして、教科書にサイドラインを引かせる。



デジタル教科書
・指示の明確化

★教科書の本文の部分を拡大し、線を引いたところがよりわかりやすくなります。

- ・挿絵を拡大して、説明している部分を確認する。

〈発問②〉

座席が広いと、どんなよいことがあるでしょう。窓がたくさんあるとよいのは、なぜでしょう。

- ・「しごと」と「つくり」には関係があり、「そのために」が文をつないでいることをおさえる。
- ・物ではなく人を運ぶことを目的としていることをおさえる。

- ・ワークシートを拡大して提示し、書き方を確認する。
- ・児童が書いたワークシートを拡大して、発表させる。
- ・「つくり」の特徴が2点あることを確認する。



デジタル教科書
(ワーク)
・説明・指示

【評価①】
(ワークシート)

【評価②】
(ワークシート)

